

# 水辺におけるにぎわいづくり

平成31年3月26日  
建設局

- ▶ 水辺の利活用を推進 → オープンカフェや“かわてらす”の誘導
- ▶ さらに、これまで以上に魅力ある水辺空間へ

## 親水空間の整備



スーパー堤防  
(新川・箱崎地区)



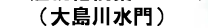
テラス  
(吾妻橋上流)



水辺の動線強化



テラス照明



連続化橋梁イメージ  
(大島川水門)



オープンカフェ



## → にぎわい誘導エリアの設定

## 規制緩和による民間事業者の利活用の促進



オープンカフェ



かわてらす(隅田川)



ボン花火

水辺と街の結び付きを強化し、人々の活動を水辺に誘導

⇒ 川沿いに観光拠点等がある浅草、両国等を「**にぎわい誘導エリア**」として、周辺施設との結びつきを強く、地域全体のにぎわいを高める取組を展開

## 浅草エリア

## 【北十間川プロムナード】

### 整備イメージ(全景)



枕橋側から小梅橋方面を望む

(※護岸の耐震補強にあわせ、歩行空間となるテラス整備)

○河川、道路、公園、鉄道高架下が一体となったにぎわい空間の創出

○都、区、東武鉄道株式会社

○平成30~31年度に整備

### 整備イメージ(高架下)



提供: 東武鉄道株式会社

## 両国エリア

## 【両国リバーセンター】



○水辺とまちの結びつき、震災時の防災機能の強化を図るため、

- 小型船舶用の**防災船着場を増設**
- 官民連携による**複合拠点施設の整備**
- **スーパー堤防の整備**

- 舟運ルートの拡大
- 主な施設 ホテル、レストラン、舟運利用者待合機能、区子育てひろば等
- 水辺とまちの動線の改善

○平成30年10月 複合拠点施設着工

○平成32年6月 供用開始

- 帰宅困難者、緊急物資輸送拠点



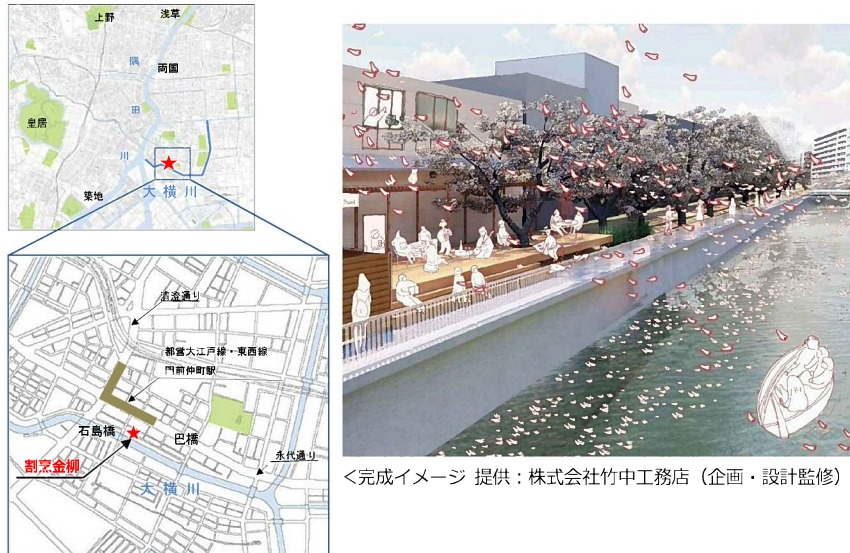
## 大横川の石島橋付近に“かわてらす”が誕生します！

建設局では、水辺の更なる魅力向上と地域の活性化を目的に、河川敷地を活用して飲食店等の営業を行う“かわてらす<sup>※1</sup>”の設置を推進しています。  
このたび、大横川に隣接する施設の事業者と都区で協議を重ね、“かわてらす”が開設されることとなりましたので、お知らせします。

### 1 “かわてらす”設置施設名、出店事業者、及び開設予定日

施設名 **割烹金柳 (かっぽうきんりゅう)**  
(住所：東京都江東区富岡1-1-2)  
事業者 **NPO法人江東区の水辺に親しむ会、有限会社金柳**  
開設予定日 **平成31年3月23日(土)**

### 2 “かわてらす”店舗位置図



<完成イメージ 提供：株式会社竹中工務店(企画・設計監修)>

※1 “かわてらす”とは、夏の京都などでよく見られる「川床」の東京版です。河川敷地を活用する場合は、特例占用<sup>※2</sup>により、河川管理者が区域を指定し、民間事業者は許可を受けて、“かわてらす”の設置と飲食店営業を行います。

※2 河川占用許可準則「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例」のこと。

### 3 協議成立までの経緯

大横川沿いの水辺のにぎわい創出を目的に、NPO法人江東区の水辺に親しむ会が中心となって、「深川の川床による水辺のにぎわい創出プロジェクト」が立ち上げられ、“かわてらす”設置の提案がなされました。

この提案に対し、これまでの社会実験で培った“かわてらす”設置のノウハウを持つ建設局と、大横川を管理する江東区が連携して調整にあたって進めてきました。

この度、建設局、江東区、地元町会、観光協会等で構成される「大横川川床協議会」で地域合意を得ることができたことから、平成31年1月21日に、江東区が大横川の巴橋から石島橋までの右岸(北側)を都市・地域再生等利用区域に指定し、NPO法人江東区の水辺に親しむ会等による“かわてらす”の開設に至りました。



#### 「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

**「スマートシティ 政策の柱7 世界に開かれた国際・観光都市」**

#### 問い合わせ先

東京都建設局河川部低地対策専門課長 富澤(とみざわ)  
電話番号 03-5320-5336 内線 41-490  
江東区都市整備部都市計画課長 老川(おいかわ)  
電話番号 03-3647-9401